

# デジタル化が進み、高度化が進む経理業界において、経理判断における付加価値を生み出せる経理パーソンを育成し、愛媛県内でワークライフバランスを守るためのキャリアアップを目指す

採択事業者名 株式会社Cuel

コンソーシアム構成員 愛媛デジ女プロジェクト | 税理士法人 丸木会計事務所

## ■勉強会の実施概要

勉強会の目的	卒業率の向上（そのための学習進捗および課題提出率の向上、モチベーション維持）
勉強会の当初のゴール想定と結果	ゴール想定：卒業率100% 結果：モチベーションを維持することで学習進捗率・課題提出率が向上し卒業率100%・キャリアアップ率70%を達成
参加者	本プロジェクト応募メンバー
協議アジェンダ	学習意欲を維持しながら離脱することなくゴールまで走り切り、デジタル環境の中でのキャリア構築を実現していくためのフォローアップ施策について

データに基づく協議ポイントの整理	受講者に対し効果的なフォローアップ施策を実行するため、実装メンバーで学習状況における各データを週次共有し、適時実装に反映させられるよう検討すること
主なデータ項目	学習動画閲覧率/オンライン授業出席率/課題提出率/オンラインコミュニティ投稿数・内容
協議におけるガイドライン（含む具体例）	スキルアップイベントにて身近なロールモデルに触れることで刺激となり視野を広げ、デジタル環境におけるキャリア構築のイメージを高め、また、個別のキャリア面談によりキャリアへの意識を高めたことが学習のモチベーションアップへと繋がった。データを活用し非アクティブな状態の見られたメンバーにはLINEやオフラインコミュニティでの個別の声かけを行うことで途中離脱を防いだ。
「実装成果」実現に向けた示唆/考察	学習進捗が最初の2週間～1か月に比べ落ちてきたタイミング、課題提出が2回連続で見られない場合などは、学習を進められない事情があるか、モチベーション低下、自己効力感が下がっている傾向が想定される。オフラインでのヒアリングやキャリア相談、複数のロールモデルに触れる機会を創る、ただ単に悩みを吐き出す場所を設けるなどのオン/オフライン含めた総合的なフォローアップにより、卒業率/キャリアアップ率に繋げていく必要がある。

## ■データ活用フォローアップの成果

### 成果（含む想定）

■重要指標：卒業率の向上（そのための学習進捗および課題提出率の向上、モチベーション維持）

	実施前	実施後
データ取得 データ活用 協議	学習プラットフォームおよびコミュニティプラットフォームにてアクティブ状況をモニタリング	
	学習進捗(動画閲覧/課題提出)率およびコミュニティ発言状況を踏まえて、実装メンバー間で週次で協議を行った。 個別アプローチによるモチベートやスキルアップイベントにてロールモデルを身近に感じることで学ぶ意義を維持。	
	動画進捗(学習進捗)率：75% 課題提出率(学習進捗)率：70% オンライン授業出席率：70%	動画進捗(学習進捗)率：90% 課題提出率(学習進捗)率：85% オンライン授業出席率：70% 卒業率：100%
	スキルアップイベント/キャリア面談/コミュニティミーティングなどの機会を設けるとともに定期モニタリング→個別フォローを実施。	
	<b>参考) 同様の別プロジェクト平均値</b> 動画進捗(学習進捗)率：55%、課題提出率(学習進捗)率：50% オンライン授業出席率：60%、卒業率：80% ※実施前から高水準ではあったが、実施後はさらに高水準となり、卒業時典まで維持	

### データ活用・協議による成果

そもそもの学習意欲・モチベーション維持ができる受講者ばかりではあった。それに加えて、左記の細やかなフォローアップ施策により、KGI：マッチング(キャリアアップ)率70%に向けてのKPI:卒業率100%を達成。結果として、現職でやむを得ない事業がある場合を除き、年収アップという形でキャリアアップ率70%も達成。また年収だけでなく、これまでの雇用主体の働き方のみの状態からフリーランスという新たな選択肢も獲得。